

## 安全・安心なまちづくりについて



立憲民主党  
市川 佳樹 議員



**質問** 第6次福生市安全・安心まちづくり推進計画で挙げている4点の防犯対策の課題についてその取り組みを伺う。

**市長** 1点目の関係機関等との連携では防犯協会との各種防犯啓発活動やPTA等との通学路の安全対策、2点目の防犯に配慮した環境づくりでは街路灯の適正管理による夜間照明の確保、3点目の防犯意識の醸成

では防犯講習会を、4点目の地域を守る意識の醸成では町会・自治会等で防犯パトロールを実施している。

**質問** 市内での自動通話録音機普及状況、防犯カメラの設置台数、また事件が発生した際の市の危機管理体制について伺う。

**総務部参事** 自動通話録音機は令和6年度の貸与件数が126件、7年度は89件で延べ1500件以上の貸与数

となっている。現在稼働している防犯カメラは、町会及び商店街の4団体15台と市が設置している359台。治安上の危険があり市民生活の安全を脅かすような事案を職員が把握した際は、直ちに防災危機管理課へ報告し、市の対応を協議するため、市長招集により副市長、教育長及び関係管理職による緊急事案対応会議を開催し対応していく。



▲貸与している自動通話録音機

## 防犯カメラについて



正和会  
武藤 政義 議員



**質問** 防犯カメラの設置について、市の基本的な考え方と現状の課題、今後の取り組み等を伺う。

**市長** 犯罪抑止や事件解明、安全・安心の醸成のため防犯カメラを市内公共施設等に359台設置。さらに市補助事業で町会、商店街、多くの一般家庭でも設置された。課題は、管理の目が届かない公園等にプライバシーに配慮しつつも適宜設置する

こと。取り組みの一つとして民間事業者との協定に基づき市内6か所に防犯カメラ搭載の自動販売機を設置。今後も防犯施策推進を図っていく。

### 障害者福祉について

**質問** 市の障害者支援施策の具体的な取り組みについて伺う。

**市長** 具体的な取り組みとして、障害者や障害児が安心して地域生活を送ることができるよう基幹相談支

援センターに保健師や精神保健福祉士等を配置している。さらに令和6年度からは新たに児童発達支援センターを立ち上げ、中核的な障害児支援機関としての機能強化を図っている。また居住支援機能を持つ事業所と連携して、障害者の相談支援や緊急時の受入れ対応、一人暮らしを体験する機会の提供等、施設から地域への移行の推進にも取り組んでいる。



▲防犯カメラを搭載したみまもり自動販売機

## ネズミの被害と防除について



公明党  
原田 剛 議員



**質問** 早期のネズミの防除対策が必要と考えるが現在の対応を伺う。

**市長** ネズミ対策は、まず各家庭で通風口や配管の隙間などネズミの侵入口を塞ぐこと、餌場、巣をなくすことなど、ネズミを寄せつけないことが最も重要である。市ではごみ集積所等の衛生環境が悪化している集合住宅に対して、管理会社等に指導を行い、衛生管理の徹底を促して

いる。殺鼠剤の配布やネズミ用わなの貸出しなどは行っていないが、市民の相談や問合せに対しては公益社団法人東京都ペストコントロール協会を紹介している。

### 校外学習について

**質問** 校外学習の教育的価値と実施の際の危機管理について伺う。

**教育部長** 校外学習は児童・生徒が日常と異なる生活環境で見聞を広

げ、集団生活や公衆道徳等についての体験を積む教育活動である。一方で事故等の発生余地があることを教職員間で認識し、事前に必ず現地に赴き経路等の状況調査を行い、緊急事態が生じた場合を想定した計画を立てている。市教育委員会は児童・生徒の安全を最優先した適切な管理の下で充実した体験活動ができるよう学校を指導している。



## 保護司のなり手不足について



正和会  
清水 義朋 議員



**質問** 市の見解と保護司法改正のポイントを伺う。

**市長** 近年、全国的に保護司の担い手不足及び高齢化が進んでおり、その背景には地域社会における人間関係の希薄化や保護司活動に伴う負担や不安の大きさが指摘されている。令和7年12月の保護司法等の改正では保護司の適任者確保、活動環境の改善、保護司の安全確保が改正の主

なポイントとなっている。今後も保護司会とさらなる連携を図り、安全・安心な保護司活動の実現と保護司の役割の重要性を広め、なり手不足解消の一助となるよう努めていく。

### 公園の日陰対策について

**質問** 夏場の公園の環境について市としての課題や対策などを伺う。

**市長** 近年高温の傾向が続き、夏場の公園での子どもの遊びなどにも

影響が出ている。日中の公園利用を避け朝夕の涼しい時間帯に遊ぶことや大人による遊具等の安全確認が重要となる。現在、遊具や周辺の温度低下のためのシェードなどを設置する予定はないが、先進事例などを研究し、今後の遊具新設等の際に公園全体のバランスを踏まえて日陰に設置できるかの視点も加味して検討していく。



▲七夕まつりでの保護司の活動PRの様子

## 公園や広場への防犯カメラ設置について



公明党  
堀 雄一朗 議員



**質問** 現在の状況と課題、今後の設置拡充等について市の所見を伺う。

**市長** 現在、福生公園、みずくらいど公園、日光橋公園、福東トモダチ公園の4公園に合計15台の防犯カメラを設置している。防犯カメラは多数の映像をリアルタイムで撮影・記録し、防犯対策への活用や犯罪抑止効果等が期待できるが、一方で、不特定多数の住民を撮影することで

プライバシー権等を侵害するおそれがあり、慎重な運用が課題である。今後も防犯上の必要性が高い公園に適宜防犯カメラを設置していく。

### 機能を有していない市道路線について

**質問** 対象路線の箇所数や課題、今後の取り組み等、市の所見を伺う。

**市長** 現在、市が管理している機能を有していない市道路線は30路線

あり、これまで同様、地権者からの要望に基づいて整理を進めていく。市道廃止の際には埋設物の状況や隣接地権者に法律上の不利益が生じないかを慎重に調査をしている。路線ごとに様々な経緯があり時間を要するが、整理を進めることは土地の有効活用にも繋がる重要な取り組みであるため、今後も市として適切に対応していく。



▲公園に設置している防犯カメラ